ＰＤＡ 即興型英語ディベート東北・中四国合同交流大会２０２３

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 10 月 29 日（日）09:00-13:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：6 校、10 チーム（山形県立山形東高等学校、秋田県立大館鳳鳴高等学校、
秋田県立秋田南高等学校、青森県立青森高等学校、
徳島県立城ノ内中等教育学校、神奈川県立相模原高等学校［Swing］）
参加者：生徒 32 名、教員 7 名
スタッフ：PDA スタッフ、 横浜国立大学、北海道教育大学、PDA 認定教育ジャッジ

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION　KDDI Foundation

はじめに、PDA ディベート推進委員長より、「ディベートを通して切磋琢磨することはもちろん、対戦校との交流時間もあるので、交流も楽しんでください。」とメッセージが送られました。参加校の紹介では、参加する高校生が“Nice to meet you !!!”“I'll do my best !!!”と元気よく挨拶しました。ルールの確認では、POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）の練習が行われ、「POI！！！」と言いながら片手を頭に乗せてもう片方の手を伸ばす POI のポーズを行いました。

全員で「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第１ラウンドの始まりです。第１ラウンドのお題は**“Students should be prohibited from using ChatGPT. （生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。）”**でした。肯定側も否定側も、生徒の将来にとって思考力は学力がより身につくのはどちらかという点について、生徒がどのように ChatGPT を使用するのかにも着目しながら分析しました。ディベートが終わると、英語の勉強方法や、発音のために気を付けていることなどを共有したり、ChatGPT を使っているかたずねたり交流を深めました。

山形東 B チーム VS 相模原

ディベート後のエアー握手（城ノ内 B VS 秋田南）

続く第２ラウンドのお題は、“**Japan should increase defense spending.**（日本は防衛費を増額すべきである。）”でした。日本が戦争に巻き込まれるリスクや、日本とアメリカの関係、防衛費のしわよせがどこにくるのかなどの点について、さまざまな国際関係に着目しながらスピーチしました。疑問が浮かぶとすかさず POI を行い、質疑応答をする場面も見られました。ディベートが終わると、ジャッジのフィードバックが始まるまでの時間、交流しました。お互いの住む地域の気温が何度か、雪がどれくらい降るか降らないかなど、東北と中四国の合同交流大会ならではの会話も見られました。

すかさず POI！（城ノ内 A VS 青森 A）

ジャッジを見ながらスピーチ（大館鳳鳴 A）

準備時間（青森 B）

ジャッジコメントを受けます（秋田南）

気合い十分！（秋田南）

堂々とスピーチ（大館鳳鳴 B）

大館鳳鳴 A

大館鳳鳴 B

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は **“Japanese students should go to universities abroad. （大学は海外に進学すべきだ。）”** でした。日本と海外の文化の違いを学ぶことや、最先端の学問を学ぶことの必要性を主張する肯定側に対し、否定側は旅行やインターネットで学べるものも多くあることや、海外に優秀な人材が流れていくことの弊害について説明しました。エキシビションディベートでも多く POI が飛び交い、鋭い質問を投げかける場面も見られました。

聞き手を意識してスピーチ

POI で質疑応答

ディベート後のエアー握手

閉会式では、表彰式のあと、PDA 代表理事の中川智皓より講評のコメントが送られました。エキシビションディベートの論題に関連して、大学進学について日本と海外の大学の違いや、大学に行く目的についてコメントがあり、「『自分の人生を豊かにするために大学で学ぶ』という考え方もあります。リベラルアーツ（さまざまな分野について横断的に学ぶ教育）のように幅広く色々なことについて考えることも重要です。皆さんまさに今日、ディベートでそれを実践したと思います。今後も頑張ってください。」とエールが送られました。

【表彰】

〈チーム賞〉

1位	城ノ内高校	A チーム
2位	城ノ内高校	B チーム
3位	青森高校	A チーム
4位	青森高校	B チーム
5位	秋田南高校	

参加者の声（アンケートより抜粋）

・一つのテーマについて 2 つの視点から意見を交えることで、自分だけでは気付けなかった考えを知ることができた。（山形東）
・自分の普段の意見とは違う側の主張をしなくてはならなかったり論点がずれてしまったりしてとても難しかったですが楽しかったです。（山形東）
・学校の人とは違う対戦相手と議論できたのが新鮮で楽しかった。ディベートが終わってからフリートークをしたのも楽しかった。（山形東）
・今回の交流会を経て、ディベートの奥深さであったり、どういった論の展開をしていく必要があるかなど、全てにおいて、自分を見つめ直すきっかけとなりました。本日はありがとうございました。（大館鳳鳴）
・少しの時間ではあったが他校の生徒と交流することができたのがよかった。他県の英語のレベルに圧巻され、刺激をたくさん受けることができた良い機会となりました。今後のディベート活動とともに、英語を学ぶことにおいてもやる気が高まりました。ここで体感した刺激を忘れず、今後の英語活動に生かしたいと思います。（大館鳳鳴）
・良い経験になりました。レベルの高さに驚愕しました。今後も研鑽していきたいと思います。ありがとうございました。（大館鳳鳴）
・ディベートはやはり英語力だけでなく、チーム全体の主張の連結なども重要であることに気づくことができた。また、相手の主張を読み取り、即興的に反論を考えるのが楽しかった。（大館鳳鳴）
・あまり会うことのない中国四国地方の高校ともディベートを行えたのがとても貴重な経験になった。また、各県や、各地方の優勝校ともあって、英語の流暢さや、論の進み方のうまさを実感できて、とても経験になりました。（大館鳳鳴）
・みんなとても話すのが上手い人が多くて驚いた。英語力があるのは当たり前で、その上でいかに論理的に筋道を立てて話すのがうまかった。（秋田南）
・またやりたい！（もう 3 年生だけど、、）（秋田南）
・他県の人とやることは滅多にないので緊張したけれど、チームメイトと協力して議論することが出来て楽しかったです。2 回目は惨敗だったけれど 1 回目は勝つことが出来て嬉しかったです。次の機会でも頑張りたいです。（青森）
・色々な人の発音や論理の立て方を経験できてとても楽しかったです。今日の学びをこれからの

ディベート活動に活かしていきたいです。（青森）

・なり深い論題が多く、考えさせられました。（城ノ内）

・他校との交流が楽しかった。（城ノ内）

・エキシビジョンディベートで凄くいいスピーチが聞けて 勉強になりました！（相模原）

・参加した生徒達は、ハイレベルな戦いに圧倒されつつも、ベストを尽くし、このディベート大会を通して、たくさんの刺激を受けることができました。ありがとうございました。（教員）